



ニッペ タイルラック 水性トップつや一番

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

■特長

- 1.臭気が少なく、1液形なので、ポットライフがない取り扱いやすい商品です。
- 2.藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- 3.つや調整(5分つや有り、3分つや有り)が可能です。
- 4.耐アルカリ性、耐水性にすぐれます。
- 5.複層仕上塗材の上塗りに適し、美しい塗膜を維持します。
- 6.防火材料認定を取得しています。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

※防火認定 平滑仕上げ

■用途 内外部壁面

■標準塗装仕様

吹付タイル面などの旧塗膜面のトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
上塗り	ニッペ タイルラック水性トップつや一番	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

JIS A 6909 複層塗材Eの場合

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
主材	ローラー塗装	ニッペ タイルラックEMA-Sベース 100K	1~2(注)	16時間以上	水道水	2~6	砂骨ローラー
	吹き付け塗装						1~3
上塗り	ニッペ タイルラック水性トップつや一番	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

JIS A 6909 複層塗材REの場合

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
主材	ニッペタイルラック 1液EPO-S ベース	1~2(注)	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペ タイルラック水性トップつや一番	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

JIS A 6909 複層塗材Siの場合

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ 水性透明シーラー	1	0.04~0.05*	2時間以上	水道水	100	はけ、ウールローラー エアレススプレー
主材	ローラー塗装 吹き付け塗装	ニッペ タイルラックシリカ-S ベースII	1.00~1.50(注)	16時間以上	水道水	1~5	砂骨ローラー
			1.40~2.00(注)				0~3
上塗り	ニッペ タイルラック水性トップつや一番	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

●上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
●カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
注)主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。
※公共建築工事標準仕様の仕上げ塗料の下塗材としてご使用の場合には使用量が異なります。公共建築工事標準仕様に準拠した施工を実施する場合、公共建築工事標準仕様で規定された所要量にてご使用願います。

ニッペ タイルラック水性トップつや一番

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
ニッペ タイルラック水性トップつや一番	各色	つや有り、5分つや有り、3分つや有り	15kg	水道水	5~10	0.17~0.20	はけ、ウールローラー エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

主な中塗り・下塗り塗料

中塗り	下塗り
ニッペタイルラックEMAベース100K ニッペタイルラック1液EPO-Sベース タイルラックシリカ-S ベースII など	水性透明シーラー 水性ホワイトシーラー 水性カチオンシーラー透明 水性カチオンシーラーホワイト 液浸透シーラー ファイン浸透シーラー透明 ファイン浸透シーラーホワイト 浸透性シーラー(新)

施工上の注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥がれていることがあります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥がれ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要です。
- 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様との差異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
- 仕上げの模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 著しい汚染が発生しそうな箇所は、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、剥がれ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水洗いして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かす、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがあります。時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤剥離を生じさせることがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科社製HI500シリーズ;コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンプライマー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りにすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが生じることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥がれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れい力不足、仕上げ不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに付いたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- シーリング面への塗装は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュリキヤールを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラーおよび剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上げ感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化するため、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多くなる塩ビソル、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロマなどへの直接塗装は避けください。
- また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ タイルラック水性トップつや一番ホワイト

横倒禁止

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後は、手洗いおよびがいが十分にすること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 本来の用途以外に使用しないこと。
- 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 口をすすぐこと。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理すること。
- 施設にて保管すること。
- 直射日光や水濡れは厳禁。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害/水生生物に有害

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9320
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-A061

TY221202T
2022年12月現在